

二〇二〇年五月三〇日

ほととぎすけふは高音に真昼時

小袖

日傘ごと反りて大仏仰ぎけり

なつき

二〇二〇年五月二一日

迷ひ込みナビに無き道朴の花

うつぎ

花丸を曆に印す田植時

かかし

二〇二〇年五月一六日

草笛の鳴るも鳴らずもみな真顔

小袖

ハンカチをたたみ直して待つデート

なつき

下闇の影を湛ふる河童淵

ひのと

けんかの子背中合はせに氷菓食ぶ

なつき

田蛙に帰路急かさるる棚田道

うつぎ

二〇二〇年五月八日

風呂炊きの煙潜りて夕燕

うつぎ

毎週句会秀句・みのる選・二〇二〇年六月九日